



2012～2013 年度
国際ロータリー会長

田 中 作 次

Weekly Report Niigata



2012～2013 年度
新潟ロータリー会長

下 岡 正 八



奉仕を通じて 平和を

2012～13 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 1月第4例会 (2013.1.29) No.2978

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱

(2) 下岡 正八会長挨拶

実験結果

1月22日新潟ロータリー恒例の新年家族会例会には、多数ご出席ありがとうございました。親睦委員会の皆様には感謝いたします。

光陰矢のごとし、といひます。25年度1月が終わろうとしています。先日ある先輩から、最近頭にくることが多いな、と言われました。私は若い頃この腐った社会を変えてやると意気込んでいましたが、最近歳のせいかどうかともいふようになります。「エポケ」思考停止。しかしライイラは消えませんが、申し上げました。1900年代初めの米国で、ちょうど現在の我国のような腐った社会を正そうと、職業人によりロータリーが作られたのでしょう。それを思うと我国も今こそ真のロータリーが必要だといえますが、覆水盆に返らず、西堀の柳の下に2匹目のドジョウはいません。というより、堀も柳もありません。

最近の新聞・TVはイジメ、暴力教師、運動部コーチと称するヤカラの不幸事で賑わっています。人間は叩けば善人になると思っているのでしょうか。情けない。

実はこの手法は昔から我国には当たり前のようにあったことで、最も低次元の卑劣な手段です。それは、相手が反抗できないことを前提に、人を脅かして怖がらせて服従させようというヤクザより悪い方法です。

行動科学という学問の研究が進み、行動変容という理論が確立されました。これは、学習理論を背景に持った幾つかの方法の総称です。学習理論には現在4つあります。では学習とは、経験することによって態度や振る舞い、考え方に持続的な変化が生じたときをいいます。

今日は4つの内の1つ、スキナーのオペラント条件づけについて話します。中にレバーが付いている箱にネズミを入れ、偶然ネズミがそのレバーにふれると餌が出てくる。この道具でえさの取り方を学習した後に、レバーに電流を通すと一時的にレバー押しをやめます。しかしネズミが空腹であると電流の恐れなどどうでもよく、続けてレバーを押して餌を取った。つまり、暴力でネズミの餌取りを中止させても、すぐにもとに戻るのです。

(3) ビジターの紹介

松本 英明君(浪江RC)

(4) 委員会報告

・柴田史郎青少年育成基金管理委員長より
青少年育成基金の事業対象推薦について

現在までに約20万円弱のご寄付をいただいております。年間では総額40万～50万円くらいになるかとおもいます。これを原資として本年度にはどのような青少年個人または団体に対し表彰・支援を行うべきか、会員皆様からご推薦を頂きたいと思っております。推薦理由を付して、新世代奉仕委員会または事務局に御申し出ください。

なお、会員の皆様に対し、推薦の募集を行う旨文書にて詳しいご案内をあらためて差し上げる予定です。

(新世代奉仕委員長に代わって報告)

・徳永昭輝徳永 昭輝君へ米山功労者第18回メジャードナー感謝状

・石本隆太郎君へ次年度地区研修委員会委員長委嘱状伝達

・小山楯夫君へ次年度地区研修委員委嘱状伝達

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(後藤 司郎委員)

得永 哲史君 福地 利明君

後藤 司郎君

米山奨学会寄付発表(永野 勇委員)

徳永 昭輝君 菊地 武人君

青少年育成基金寄付発表(柴田 史郎委員長)

柴田 史郎君 樋熊 紀雄君

(6) ニコニコボックス紹介（横山 芳郎委員）

- ・岡村 健吉君 一人娘が東京で結婚、複雑な心境ですが、一応ニコニコまで。
- ・徳山 啓聖君 先日県体育協会より体育功労者表彰を受けました。又、このたびロータリーより喜寿のお祝いをいただきありがとうございます。充実した1年を送りたいと思っております。
- ・五十嵐 幸雄君 先週22日夜の例会、新年会は都合で欠席失礼いたしました。当夜、自宅へクラブから「長寿祝」が届けられました。喜んで頂戴いたしました。御礼を申し上げます。
- ・後藤 司郎君 長寿祝、ありがとうございました。
- ・金親 顯男君 先日の新年例会に皆様のご出席を頂きありがとうございます。（親睦委員長）

(7) 幹事報告（宇尾野 隆幹事）

- ・ロータリーレートが2月より現行の82円から88円に変更になります。
- ・国際ロータリー年次大会がポルトガルのリスボンにおいて、2013年6月23日～26日まで開催されます。恒例の日本人親善朝食会が6月23日（日）6時30分よりシェラトン リスポア ホテル & スパにて開催されます。参加ご希望の方は事務局へお早めにお申込み願います。

(8) 卓話「新潟県の画家 佐藤哲三について」

小見 秀男 氏



(9) 本日の出席率 67.44 %

(2週間前メーク後 78.17 %)

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rcrerc

コラム

日本興亜損害保険(株)

新潟支店長 鈴木 孝佳

「入社30年を振り返って」

私は、昭和57年、事故や災害に遭い困っている人に対して保険金を支払うと言う社会貢献の高い損保業界、中でも非財閥の雄という言葉に魅せられて旧日本火災海上保険(株)に入社しました。

地元愛知県の刈谷支社をスタートに、新潟支店で11部支店課支社に勤務し、勤続30年を経過し、単身赴任生活も14年となり結婚生活の半分を占めるに至りました。

会社も合併を繰り返し2001年日本興亜損害保険(株)と社名変更し現在に至っています。

私が入社した当時は、モータリゼーション華やかな時代で、業績は二桁成長、ただ動き回っているだけで予算達成と、順風な時代で、損保各社も護送船団方式で守られ、国内社24社ありました。

現在は合併・再編により、3メガ損保グループに集約され、ここ数年の業績は横ばい、自然災害等により本業収益は赤字体質と様変わりです。これも高齢化社会の進展、若者の自動車離れ、地球温暖化による異常気象が大きく影を落としています。

現在、損保会社は買収による海外進出、サービス産業への進出等、成長戦略に生き残りをかけています。

さらに当社は、損害保険ジャパン社と合併を控えており、2014年には損害保険ジャパン日本興亜(株)が誕生する予定です。

会社規模はさらに大きくなりますが、私とは言う、入社当時の高い志とは程遠くに身を置いている気がします。

これを機に、自分を見失うことなく、また初心を忘れずに歩んでゆきたいと思えます。